

新型インフルエンザ情報

ワクチン接種について

1月25日からすべての市民の方は接種できます。ワクチンは3月末まで順次製造されます。医療機関に連絡されても予約ができない場合があります。接種までに少し時間が掛かるかもしれませんがしばらくお待ちください。

費用・負担軽減措置について

費用： 1回目 3600円、2回目 2550円（1回目と同じ医療機関で接種した場合）、3600円（1回目と違う医療機関で接種した場合）

接種回数：1歳～小学生は2回
そのほかの方は原則1回

負担軽減措置：対象は生活保護世帯と市・府民税非課税世帯の方です。生活保護世帯の方は保健福祉総務課で「生活保護受給証明書」を、市・府民税非課税世帯の方は税務課または総合窓口で「市・府民税非課税証明書」をとり、医療機関の窓口に提出してください。市内受託医療機関で接種を受けた方は無料になります。また、市外で接種した場合は一度料金を支払った後に、領収書、印鑑、接種済証明書、銀行口座が分かるものなどを持って健康増進課に申請して

ください。申請期間は3月31日までです。なお、市外で接種した場合はいずれの負担軽減の証明書も必要ありません。
市内の受託医療機関で証明書を提示しないで接種した場合も還付の申請ができます。

1歳未満の小児について

1歳未満の小児の方はワクチン接種により免疫をつけることが難しいため、新型インフルエンザワクチン接種は推奨されませんが、有益性とリスクを十分に考慮した上で、新型インフルエンザワクチン接種を行うことは差しつかえありません。なお接種回数は2回となります。

問い合わせは健康増進課（754・6034）

新型インフルエンザ相談窓口

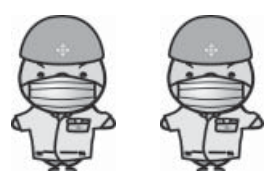
相談＝府相談窓口：月～金曜日（祝休日を除く）の午前9時～午後6時、06・6944・6791。市相談窓口（健康増進課内）：月～金曜日（祝休日を除く）の午前8時45分～午後5時15分、754・6034

新型インフルエンザ 予防接種推進協力 医療機関の追加

1月号でお知らせした新型インフルエンザ予防接種推進協力医療機関に「北村耳鼻咽喉科（呉服町2番20クレハ220ビル1F、754・8733、FAX 754・8744）」を追加します。

まずは手洗いを ～インフルエンザ対策～

せっけんを使って15秒以上洗いましょう。外出時は手を洗う場所がない場合に備え、消毒用のウェットティッシュなどをご持参ください。また二度洗いも効果的です。



歴史散歩

足利義晴・義輝期の毛氈鞍覆・白傘袋御免

	年代	免許者
足利義晴期	大永2 (1522)	三雲源内左衛門 (六角氏被官)
	" 3	浦上村宗 (播磨守護代)
	享禄1 (1528)	長尾為景 (越後守護代)
	天文8 (1539)	池田久宗 (摂津国人)
	" 10	三宅国村 (摂津国人)
足利義輝期	" 11	芥川孫十郎 (摂津国人)
	" 18 ?	陶隆房 (周防守護代)
	" 18 ?	杉重矩 (豊前守護代)
	" 18 ?	内藤興盛 (長門守護代)
	" 18 ?	飯田興秀 (大内氏被官)
	" 19	長尾景虎 (上杉謙信)
	弘治2 (1555)	桑折貞長 (伊達氏被官)
	永禄初め (1558 ~) ?	松浦隆信 (肥前国人)

二木謙一『中世武家儀礼の研究』(1985)から作成

わがまち 歴史散歩 「毛氈鞍覆と池田氏」

市史編纂だより

池田氏に毛氈鞍覆・白傘袋御免

新興の戦国大名や国人へ毛氈鞍覆・白傘袋の特権が付与されるようになったのは、室町幕府12代将軍足利義晴から次の義輝にかけての時期(1521~1539)で、十数例が知られています(左表)。
池田氏がこの特権を得たのは天文8年(1539)のことです。将軍

義晴の内談衆・大館常興の日記の同年12月26日条に、次のように記されています。

京兆被官池田筑後守事、せんくらおふひ(氈鞍覆)・白キかさふくろ(傘袋)御免之事望申候。仍各御談合之処、如此引懸在之上者、御免可然候由、内談衆各へ被申之

「池田筑後守(久宗)」が毛氈鞍覆・白傘袋御免の格式を望み申し出て、内談衆らの支持を得て、将軍義晴に上申されています。

注目されるのは、これが「摂津国衆」では初の栄誉だということです。その後、三宅国村(天文10年)、芥川孫十郎(天文11年)にも同様の特権が認められます。

武人としての池田氏

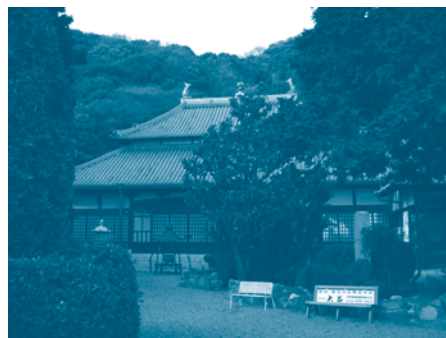
日記中の「京兆(右京大夫)」というのは、摂津国守護細川氏の家督を指し、ここでは幕府管領の職にもあつた細川晴元のことです。池田氏は有力な細川被官(家来)として知られていました。

応仁の乱(1467)では細川勝元が大将を務める東軍方として、池田充政が騎馬12騎、野武士千人を率い参戦し(『後法興院記』)、西軍の援軍として山口より出兵した有力守護大内政弘から池田城攻めを受けたこともあります(『経實私要鈔』)。細川家分裂においても、澄元・晴

元父子方として活躍しました。澄元が家臣に裏切られ高国が家督に擁立された永正5年(1508)には、池田貞正は高国方に籠城戦を挑みます。「国中に同心するものなき」状況のなか、孤軍奮闘の末、同名衆20余、雑兵70余とともに壮絶な死を遂げます。これを軍記「細川両家記」は、「かようにふるまひける事よ、大剛の者哉とかんげぬ人こそなかりけれ」と、貞正をたたえています。

池田久宗も長年、晴元方として活躍したことが同記にみえ、「市史編纂だより48」でも紹介されています。このような武人としての活躍によって、毛氈鞍覆・白傘袋という栄典に浴したと考えられます。しかし理由はそれだけでしょうか。ほかの要因も探ってみましょう(次回へ)。

市史編纂委員会委員・丹生谷哲一



池田貞正が自害したと伝えられる大広寺

問い合わせは社会教育課市史編纂 (753・2904)

ギャラリーコーナー

【ギャラリーいけだ】	【ギャルリVEGA】
庶民芸術の華「てぬぐい百年展干支」 2/3 ~8	庶民芸術の華「てぬぐい百年展」 2/3 ~15
前山鈴恵墨彩展 2/10 ~15	梅花女子大学短期大学部卒業制作展
藤沢裕子木彫刻展 2/17 ~22	「生活の美・アート展」 2/17 ~22
石澤薫美・西川喜雄二人展 2/24 ~3/1	久永裕子リトグラフ展 2/24 ~3/1
	心をいやすわらもじ展 2/24 ~3/1

【開館時間】10:00~19:00(最終日は16:00まで)
 【休館日】火曜日
 【入館料】無料
 【使用料】
 ギャラリーいけだ 5万円(展示販売不可)
 ギャルリVEGA 15万円(ブロックの分割使用=7・10万円=、展示販売も可)
 【使用期間】水~翌週月曜日の6日間
 【申し込み】使用希望月の1年前から

使用申し込みは
 いけだ市民文化振興財団
 (750・3333)